

もっと「おおたの同友」を知ろう！ 参加しよう！

O T A ・ N O ・ D O Y U

おおたの同友

一般社団法人 東京中小企業家同友会 大田支部 © 広報誌リニューアル18号

広報委員会

おおたの同友 リニューアル17号（2020年4月発行）
広報委員長：針谷周作（コトノハ株式会社）
広報委員会：島村亮（株式会社ルミナス）
小川琢弘（株式会社 think shift）
発行：一般社団法人 東京中小企業家同友会大田支部
編集制作：コトノハ株式会社

入会のご希望は、東京中小企業家同友会大田支部
→ ☎03-3261-7201

お知らせ | NEWS HEADLINE

2019年度 大田支部活動総括

大田支部支部長 有倉将人



2019年度支部スローガン

『自らを高め、経営を伸ばす！』 新しい時代へ漕ぎ出そう

2019年度支部運営につきまして、副支部長を始めとした幹事の皆さま、大田支部会員の皆さまから多大なご協力を賜り誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

そして、力不足ではありましたが2期4年の支部長任期を無事終了することができましたこと重ねまして厚く御礼申し上げます。

さて2019年度は天皇陛下のご即位、令和という大きな時代の節目を迎えました。そして東京2020オリンピックという世界的なスポーツイベントを翌年に控える中、日本で初めてラグビーワールドカップが開催されたたくさんの観客動員とラグビーブームを巻き起こし、日本中が沸き上がりました。ただ、一方では台風による河川氾濫などの自然災害によって多くの命が奪われました。そして、経済的には消費税10%の増税も実施され、今年に入っては新型ウィルスの流行による健康の心配、世界的な経済の下振れ懸念など、新しい時代の大きな期待と同時に予測のつかない事象に対する不安を抱えている人も多いのではないのでしょうか。

そんな中、大田支部ではじわりじわりではありますが会員数も増加し、部会の活性化によって本来の学びも深めてきました。至らぬ点も多々ありましたが、幹事及び副支部長の皆様と会員の皆様のご支援のお蔭で、方針に沿った支部活動がある程度行われてきたのではないかと思います。つきましては2019年度の大田支部活動についての総括を右記のとおり報告させていただきます。

大田支部からのお知らせ

NEWS

新型コロナウイルス感染症の影響は計り知れずまさに経営上の非常事態です。経営者はどんなに環境が厳しくとも自社の経営を守り発展させなくてはならない責任があります。新型コロナウイルス感染症の影響に伴うセーフティネット保証4号は、経営の安定に支障が生じている中小企業者を一般保証（最大2.8億円）とは別枠（最大2.8億円）の保証の対象とする資金繰り制度です。貴社の所在地の区役所での認定申請が必要となります。

大田区のセーフティネット保証4号認定の詳細は下記URL先をご参照ください
http://www.city.ota.tokyo.jp/sangyo/topics/safety-net_corona.html

①【同友会活動を通じた業績向上】

(1) 部会・委員会の活性化につきましては、一昨年に続き7月の幹事会にて大オリエントーションを開催させていただきました。その結果、新たに入会していただく会員の方もおられ、しっかりと中身の充実した部会の活動を紹介していくことが活性化に一役買うものと感じました。

(2) また実践・経営指針の会は福岡同友会会員さんの経営体験の報告、製造部会では広島同友会会員さんの経営体験の報告、LABO部会には東京の他支部の会員さんが多く参加されるなど、支部を越えた活動によって大きな学びを得るとともに、ビジネスも含めた実のある交流を図ることができました。

②【新会員、既存会員のフォローと交流を深める】

(1) 大森、蒲田、リバーサイドブロック会は2019年度もほぼ毎月開催し、少人数ながらもお馴染みの会員さんが楽しみにされるなど下駄ばき交流は健在です。

(2) 新会員さんにつきましては、まだまだフォロー不足ですが、先に報告させていただいた大オリエントーションへの参加による支部活動の理解や、活性化された部会に参加されるなど交流を深めることができたのではないかと思います。

③【社員とともに参加し学べる同友会活動】

大田支部の特徴的な活動でもある大運動会も11月に4回目を開催することができました。今回から『Fire部会』が正式に発足して取り纏めていただきましたが、実行委員会は例年通り会員企業の社員さん達による運営となりました。そして急な日程変更にも関わらず100名規模の盛会となりました。

毎年感じることでありますが、参加者皆さんの笑顔が何よりの結果であり、各企業の社員同士の団結と会員企業の交流をさらに深めることができました。実行委員会の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

④【女性部や他支部との交流を深め支部の多様性を高める】

南部協議会では大島議長が任期2年を終了されましたが、結束のある南部協が戻ってきたのではないのでしょうか。その流れで今年の経営研究集会でも大島さんが実行委員長を務められ、東京同友会内での更なる交流が生まれてくるのではないのでしょうか。

⑤【行政や大学、高専との産学交流を深める】

立正大学とは産学交流委員会だけではなくLABO部会の企画によって2019年度も経営学部のゼミと交流を深めることができました。

また、都立高専とは全国高専デザインコンペティションに向けて都立高専産学交流委員会が企画段階から力強くサポートをして12月に地元蒲田PIOで無事開催されました。

以上、2019年度活動の総括とさせていただきます。

新支部長 島村 亮 より

ご挨拶



有倉支部長体制のもと、副支部長としての役割をいただいております株式会社ルミナスの島村 亮です。

大田支部会員の皆様、支部活動を多方面から支えてくださいますこと心より感謝申し上げます。昨年10月の消費増税に始まり、新型コロナウイルスの感染拡大、オリンピック・パラリンピックの最大1年間の開催延期と経済界に与える影響は甚大であります。コロナウィルスの感染拡大を食い止めたとしても景気回復には時間がかかるのではないかと想像しています。

そんな中、今年度より支部長交代が行われ、わたくし島村 亮が新支部長の大任を拝命することとなりましたこと、まずはご報告いたします。

同友会に入会し約20年が経過します。しかし『支部への恩返し』などというものではなく、未だこの素晴らしい東京中小企業家同友会大田支部の恩恵をこれからも期待するまだまだ発展途上の経営者ではありますが、冒頭申し上げたすべての会員様への感謝とともにこれからもますます支部活動・支部運営に取り組む、会を充実させていきたいと思っております。実践指針の会・LABO部会・製造部会・産学交流会・FIRE部会・蒲田大森リバーサイドブロック会・ゴルフの会と楽しい部会が目白押しです。(あの伝説の部会が帰ってくるかもしれません!!)

今年度の支部活動スローガンは『100年に一度の変革の時代(とき)、全員参加で限界突破!!』というものに決まりました。一泊同友会で参加企業各社が描いたキーワードで作った渾身のスローガンです。同友会でも会社でもこの不況期にこそ心を一つにして力を結集して乗り越えていきましょう!

今後の情勢を見極めながらの発進とはなりますが、心は元気に『限界突破』でよろしくお祈りいたします。

大田支部・賀詞交歓会レポート

会員同士の交流が深まった会

郷家由佳 (アッカカンパニー)

2020年度大田支部・賀詞交歓会は、1月23日に大田支部会員の【羽田バル】を貸し切りにて行われました。大田支部・賀詞交歓会へ参加させて頂きました。

たくさんの方の参加に恵まれ、お店の中が熱気に包まれながら、2019年度に新しく入会された新会員の方の仕事のご紹介、そして、保利太一さんのフォークライブは、ギターの弾き語りを間近で聴いて、心の奥に届くギターと歌声に癒され、より熱気が高まったと思いました。

4種類のビールの飲み比べで、味の違いを楽しみながら、自慢のクラフトビールだけでなく、ビールと相性の良いピザをはじめ美味しいお食事で大変お腹も満足いたしました。

新しく入会された新会員の方、また他の会員の皆様との交流を深める機会となり、今回、賀詞交歓会に参加させて頂いた事に感謝しております。ありがとうございました。



地域に根差した経営を

(株)湯建工務店 代表取締役社長

大関泰子さんに聞く地域経営

取材 (株)think shift 小川琢弘

湯建工務店は、大田区大森・蒲田エリアで建築・リフォーム・不動産事業を行う工務店です。

今年で16回目の餅つき大会ですが、これは創業期からやっていたのではなく、私が入社してから始めた取り組みです。地元で育ち、顔を見たら挨拶するような近い距離感でこの町の方々と暮らしていましたので、その人たちが何か困ったことがあれば、すぐに相談してくれる関係を作っていくのが、この地域で暮らしていく上で私は大切だと思っています。

普段、戸建ての構造見学会、完成見学会といったイベントをやっている中で、お客様だけでなくお世話になっている地域の皆様へ感謝を伝える場はつくれないかと考え感謝祭をすることにしました。餅つき以外にも、夏フェス、クリスマスリースづくりと季節ごとにイベントをしています。餅つきは、たまたまお客様の中に、杵と臼をお持ちの方がいて昔話を聞かせていただく中で、餅つきやるなら手伝うよと声掛けいただいたところから始まりました。

宣伝も兼ねてはいますが、季節の行事を通じて、ただ純粋に地域の人たちに楽しんでもらいたい、来ていただいた方の憩いの時間になればいいなという想いでやっています。

地元密着の企業は、泥臭いことをやらないとなかなか認知されにくいんです。会長も地域というコミュニティに積極的に参加していましたが、私たちの番が回ってきたと思っています。手間がかかることも嫌がらずにやってみて、そこから縁が深まって繋がっていかねばいいなというくらいで考えています。



一泊同友会 @マホロバマイズ三浦レポート

2月15日(土)・16日(日) 開催

有倉支部長！4年間お疲れさまでした！島村亮新支部長、よろしくお願いします！

今年の一泊幹事会は、場所をマホロバマイズ三浦に移し、コロナウイルスのニュースがテレビで放送され、若干の緊張感に包まれた中での開催となった。

4年間の激務を終えた有倉支部長から2019年度の総括が読み上げられ、「自らを高め、経営を伸ばす」をテーマに取り組んできた大田支部の活動が走馬灯のように思い出された。社員を巻き込んでの運動会、戸谷氏を講師に招き開催されたセミナー「社員の心に火をつけて明るく元気な社風をつくる」などは、こ

の4年間に大田支部の中から生まれたオリジナリティあふれる取り組みだった。さらに部会活動も活発化し、会員が前のめりで参加できる会が増えたことも記憶に残る。

そして、新支部長となる島村亮氏((株)ルミナス)から、2020年度からの新しい大田支部のあり方についての提言がなされた。

有倉支部長、4年間お疲れさまでした。パトントッチされた島村新支部長、よろしくお願いいたします！



大田支部第39回支部総会のご案内

大田支部総会が、4月22日(水)に大田区産業プラザPioにて開催されます。今年は新型コロナウイルスの影響により講演会、懇親会は中止することになりました。2019年の総括と、2020年度という新しい年度への方針が発表されます。コロナウイルス感染症対

策のため、皆様には「Zoom」によるオンライン参加を推奨しています。

DATA

開催日: 2020年4月22日 18:00~
Zoomでの入室パスワード: 769327

